

弘 前 大 学  
教 育 学 部 紀 要

第 114 号

平成27年10月

Bulletin of the Faculty of Education  
Hirosaki University

No. 114

October 2015

弘 前 大 学 教 育 学 部

Hirosaki, Japan

# 目 次

富山県立公文書館所蔵の往来物資料について……………	郡 千寿子 (1)
自筆本倭訓栞の語種分類について ……………	平 井 吾 門 (9)
周作人『木片集』訳稿 (二) ……………	徐 小 淑 (17) 山 田 史 生
逸脱する文学教材…………… —「嫉妬」篇—	鈴 木 愛 理 (25) 仁 平 政 人 平 井 吾 門 山 田 史 生
平成の市町村合併後における通勤流動の考察…………… —青森県を事例として—	後 藤 雄 二 (35)
義経伝説と熊野信仰 …………… —北からの視点を取り入れた日本史・世界史融合にむけて—	篠 塚 明 彦 (43)
韓国の初等学校3～4学年群科学学習内容の分析 …………… —生命領域の学習内容に焦点化して—	佐 藤 崇 之 (51)
イタリア近代歌曲の興隆、その知られざる諸相から …………… ：詩、ワグネリズモ、ピアニスト (前篇)	朝 山 奈津子 (59) 森 田 学 山 田 高 誌
中学校技術科材料加工学習における…………… 生活応用力の形成を支援する学習指導法の試行的実践	上之園 哲 也 (75) 中 原 久 志 森 山 潤
中学校家庭科教員免許状保有教員と …………… 臨時免許状教員に指導された生徒の家庭科観	日 景 弥 生 (87) 青 木 香保里 志 村 結 美
通学合宿に参加した補助学生の学びにおける一考察 ……………	小 野 恭 子 (97)
OVER 再び ……………	奥 野 忠 徳 (105)
小学3年生に対する社会的スキル訓練と保健学習の包括的プログラムの効果 ……	珍 田 洋 子 (115) 田 中 勝 則

## 弘前大学教育学部紀要刊行及び投稿規定

弘前大学教育学部紀要編集委員会

1. 本紀要は本学部で行われた研究の成果を公表することを目的に刊行する。
2. 発行は原則として各年度の10月及び3月の年2回とし、各号はA4版で約150ページとする。
3. 原稿の締切は概ね7月下旬及び1月上旬とする。
4. 論文の著者には本学部の教員が含まれていなければならない。
5. 論文の本文は横書きの和文又は英文を原則とする。
6. 各論文の長さは図表等を含めて刷り上がり10ページ以内とする。なお、印字の大きさは9ポイント活字相当とし、1印刷ページは和文で1行24字、45行の2段組で2,160字とする。英文等の場合は1段組とする。
7. 原稿の作成に際しては所定の執筆要領（別掲）に従うものとする。
8. 掲載順序など、編集に関することは紀要編集委員会が決定する。なお、論文の内容等について疑義が生じた場合、本委員会は著者と協議し、必要があれば訂正等を求める。
9. 原稿の受理後における内容の変更等は認めない。
10. 校正は原則として著者が行い、2校までとする。
11. 論文が11ページ以上に及ぶ場合や、カラー印刷や図版の作製などに特別の経費を要する場合には、その経費は原則として著者負担とする。
12. 刊行経費が予算を超過した場合、超過分を著者の按分負担とすることがある。
13. 別刷を希望する場合は、投稿の際に必要な部数を申し出る。経費は著者負担とする。
14. 本紀要に掲載された論文の著作権は当該論文の著者に帰属する。ただし、本委員会は掲載された論文を電子化し、「弘前大学学術情報リポジトリ」に掲載して公開することができるものとする。

この規定は、平成20年4月から施行する。

## 弘前大学教育学部紀要執筆要領

1. 原稿は、手書きの場合字数が明確になるよう原稿用紙に記載する。また、タイプライターやワードプロセッサ等を用いる場合にはA4版の用紙に印字する。なお、パソコン等による原稿には、使用したハードウェア及びソフトウェアを明記したフロッピー・CD-R等を添付することが望ましい。
2. 原稿には論文題名、著者名及び所属が和英両語で記載されていなければならない。なお、英語に変えて、他の汎用性の高い言語を用いてもよい。
3. 本文の前には同一の言語による要旨（Abstract）及び、キーワードを置く。要旨は和文の場合には400字以内、英文等の場合には120語以内とする。なお、更に別の言語による要旨をおいてもよい。キーワードは数語以内とする。
4. 文献の引用は原則として本文中の該当個所の右肩に片括弧付きの番号で表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の題名、掲載誌名、巻・号、ページ、発行年を、また単行本の場合は著者名、書名、出版社名、ページ、発行年を記載することを原則とする。
5. 印刷に当たって指定したい事項（字体、下線、図表の挿入個所など）は原稿内に朱書するなどして明示する。
6. 図表（写真、楽譜等を含む）はなるべく少数にとどめ、本文原稿中に挿入することは避け、原則としてひとつずつA4版程度の白色台紙に貼り添付する。なお、図表の表題、指定事項等は台紙の端に記載する。また、図表は直接製版できるよう明確なものとし、図中に文字などを写植する必要がある場合には明確に指示する。
7. 原稿の提出に際しては規定の「投稿申込書」を添付し、編集委員に確認を受ける。

## 編集委員会

本 間 正 行 (委員長)

山 田 史 生

李 秀 眞

松 田 侑 子

弘 前 大 学  
教 育 学 部 紀 要  
第114号  
(2015年10月)

平成27年10月 5 日印刷  
平成27年10月 9 日発行  
編集兼発行者  
弘 前 大 学 教 育 学 部  
弘前市文京町 1 番地  
電話 (0172) 36－2 1 1 1 (代)  
印刷所 小 野 印 刷  
弘前市富田町52  
電話 (0172) 32－7 4 7 1 (代)

## 弘前大学教育学部紀要刊行及び投稿規定

弘前大学教育学部紀要編集委員会

1. 本紀要は本学部で行われた研究の成果を公表することを目的に刊行する。
2. 発行は原則として各年度の10月及び3月の年2回とし、各号はA4版で約150ページとする。
3. 原稿の締切は概ね7月下旬及び1月上旬とする。
4. 論文の著者には本学部の教員が含まれていなければならない。
5. 論文の本文は横書きの和文又は英文を原則とする。
6. 各論文の長さは図表等を含めて刷り上がり10ページ以内とする。なお、印字の大きさは9ポイント活字相当とし、1印刷ページは和文で1行24字、45行の2段組で2,160字とする。英文等の場合は1段組とする。
7. 原稿の作成に際しては所定の執筆要領（別掲）に従うものとする。
8. 掲載順序など、編集に関することは紀要編集委員会が決定する。なお、論文の内容等について疑義が生じた場合、本委員会は著者と協議し、必要があれば訂正等を求める。
9. 原稿の受理後における内容の変更等は認めない。
10. 校正は原則として著者が行い、2校までとする。
11. 論文が11ページ以上に及ぶ場合や、カラー印刷や図版の作製などに特別の経費を要する場合には、その経費は原則として著者負担とする。
12. 刊行経費が予算を超過した場合、超過分を著者の按分負担とすることがある。
13. 別刷を希望する場合は、投稿の際に必要な部数を申し出る。経費は著者負担とする。
14. 本紀要に掲載された論文の著作権は当該論文の著者に帰属する。ただし、本委員会は掲載された論文を電子化し、「弘前大学学術情報リポジトリ」に掲載して公開することができるものとする。

この規定は、平成20年4月から施行する。

## 弘前大学教育学部紀要執筆要領

1. 原稿は、手書きの場合字数が明確になるよう原稿用紙に記載する。また、タイプライターやワードプロセッサ等を用いる場合にはA4版の用紙に印字する。なお、パソコン等による原稿には、使用したハードウェア及びソフトウェアを明記したフロッピー・CD-R等を添付することが望ましい。
2. 原稿には論文題名、著者名及び所属が和英両語で記載されていなければならない。なお、英語に変えて、他の汎用性の高い言語を用いてもよい。
3. 本文の前には同一の言語による要旨（Abstract）及び、キーワードを置く。要旨は和文の場合には400字以内、英文等の場合には120語以内とする。なお、更に別の言語による要旨をおいてもよい。キーワードは数語以内とする。
4. 文献の引用は原則として本文中の該当個所の右肩に片括弧付きの番号で表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の題名、掲載誌名、巻・号、ページ、発行年を、また単行本の場合は著者名、書名、出版社名、ページ、発行年を記載することを原則とする。
5. 印刷に当たって指定したい事項（字体、下線、図表の挿入個所など）は原稿内に朱書するなどして明示する。
6. 図表（写真、楽譜等を含む）はなるべく少数にとどめ、本文原稿中に挿入することは避け、原則としてひとつずつA4版程度の白色台紙に貼り添付する。なお、図表の表題、指定事項等は台紙の端に記載する。また、図表は直接製版できるよう明確なものとし、図中に文字などを写植する必要がある場合には明確に指示する。
7. 原稿の提出に際しては規定の「投稿申込書」を添付し、編集委員に確認を受ける。

## 編集委員会

本 間 正 行 (委員長)

山 田 史 生

李 秀 眞

松 田 侑 子

弘 前 大 学  
教 育 学 部 紀 要  
第114号  
(2015年10月)

平成27年10月 5 日印刷  
平成27年10月 9 日発行  
編集兼発行者  
弘 前 大 学 教 育 学 部  
弘前市文京町 1 番地  
電話 (0172) 36－2 1 1 1 (代)  
印刷所 小 野 印 刷  
弘前市富田町52  
電話 (0172) 32－7 4 7 1 (代)